

# 行政報告

(令和元年第6回定例会【9月】提出)

安芸太田町

## 1 選挙の執行について【選挙管理委員会】

第 25 回参議院議員通常選挙を 7 月 21 日(日)に執行しました。

町内 24 か所の投票所で、午前 7 時から午後 7 時(一部投票区を除く)の間、投票を実施し、午後 8 時 15 分から戸河内ふれあいセンターで開票を行い、投・開票ともに事務上の大きなミスもなく終了しました。結果については、即日ホームページに掲載しています。

なお、全体投票率 64.42%は、広島県内ではトップの投票率となっています。

令和元年 7 月 21 日執行 第 25 回参議院議員通常選挙

【選挙区】

(国内+在外)	有権者数(人)	投票者数(人)	投票率(%)
男	2,602	1,706	65.56
女	2,991	1,897	63.42
合計	5,593	3,603	64.42

なお、当日は大雨に伴う警報が発令され、町村合併後、初めて選挙事務と防災対応を同時並行で行うこととなりましたが、職員配置の工夫等、臨機応変に対応し、無事終わることができました。

## 2 旧戸河内中学校及び旧修道小学校解体工事等について【総務課】

本年度に解体工事を行う旧戸河内中学校及び旧修道小学校については、現在、解体工事に向けた実施設計を、9 月末を委託期間として業務を実施しており、その実施設計による所要の整理を行った後、必要な手続きを経て、10 月以降に解体工事に移行する予定です。

また、旧 J R 可部線における橋梁等の撤去に向けた取組として、今年度実施する同橋梁撤去に係る概略設計については、12 月末を委託期間として業務を実施しており、国土交通省太田川河川事務所や広島県との連携をとりながら、概算撤去費用や撤去に向けた優先度合等を判定するデータをとりまとめ、次年度以降の対応に資することとしております。

## 3 豪雨・台風等への対応について【総務課・建設課】

平成 30 年 7 月豪雨を踏まえて、「国の避難勧告等ガイドライン」が改訂されたことを受け、本町においても 6 月 20 日に防災会議を開催し、このガイドライン等に準拠した形で防災計画を見直し、早期避難に向けた基準の変更を行いました。

こうしたことから、本年 6 月から 8 月までの間においては、大雨注意報、警報等により、通年の同時期の倍を超える延べ 12 回の注意体制、警戒体制による防災対応を行いました。

また、先般 8 月の台風 10 号接近の際には、事前に防災対策会議を開き、消防団と連携する中、台風が接近するまでに早期の避難を呼びかけました。この台風 10 号の対応については安芸太田町への最接近が 8 月 15 日でお盆期間と重なり、安芸太田町としては初めてのケースで、開催を予定していた「戦没者追悼・平和祈念式典」について中止を余儀なくされました。

6 月から 8 月までの大雨、台風等の被災状況については、林道 2 箇所、町道 1 箇所(軽微な維持箇所も含む)の被害が発生しました。なお、人的な被害や家屋・その他

の公共施設への被害はありませんでした。

#### **4 第二次長期総合計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略）施策評価について【企画課】**

第二次長期総合計画（まち・ひと・しごと創生総合戦略）における平成 30 年度に実施した事業の施策評価を実施しました。

内部評価にあたっては、各課から選出した若手職員 16 人で、施策評価検討ワーキングチームを編成し、各課の自己評価をもとに、各施策の進捗状況、事業実施における課題等について評価を行い、その結果を各課で再検討する内部評価を行いました。

この内部評価内容について、去る 8 月 8 日に「まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議」で説明を行い、各委員から内部評価に関するご意見をいただいたところです。

内部評価結果とともに推進会議での意見を今年度の後半の取り組みと、新たな総合戦略の施策策定に反映していきます。

#### **5 安芸太田町地域公共交通会議について【企画課】**

去る 8 月 27 日に安芸太田町地域公共交通会議を開催し、平成 30 年度の交通行政施策の報告を行うとともに、消費税増税に伴う運賃の改定、あなたくの乗降箇所の追加等に関する協議を行いました。協議が整った運賃の改定等については、10 月 1 日から実施することとしています。

また、10 月から開催を予定している主に免許返納者を対象とした公共交通体験会の企画内容を説明し、各委員から意見をいただきました。この意見をもとに、一層利用しやすい公共交通の在り方を検討していきます。

#### **6 令和元年度第 1 回目の地域懇談会について【地域づくり課】**

今年度第 1 回目の地域懇談会を 7 月 10 日から 7 月 17 日までの間に 4 会場で開催しました。今回はまちづくりに関する意見交換を主題として 3 つのテーマを設定し、小グループによる意見交換の方式を取り入れ実施しました。

懇談会の会場もこれまでの公共施設ではなく、加計・筒賀・戸河内の小学校での開催で校舎内の見学会も併せて行いました。懇談会の参加者は全体で 47 人の参加があり、予定した参加者数よりも少数であり、今後の開催内容の見直しや周知方法などの工夫が必要です。

今回の参加者からは意見交換がしやすく親近感のある懇談会であったとの感想を頂きました。また、今回の懇談会へは町から管理職職員が各グループでの進行や記録の役割での参加で、行政への意見なども活発に行われ、今後第 2 回、3 回の懇談会を継続的に進め、まちづくりへの意見集約を図り、次期長期総合計画への反映などに活用する予定です。

#### **7 新規就農者支援事業の状況について【産業振興課】**

平成 26 年度から、広島市との連携による農業の担い手育成の取り組みとして「ひろしま活力農業新規就農者研修制度」を活用し、消費者に新鮮で安心な葉物野菜を供給しています。現在、5 人の青年就農者が安野・修道の両地区において、ビニールハウス面積 165 a（安野地区 90 a、修道地区 75 a）に 66 棟（安野地区 33 棟、修道地区 33 棟）を整備

し、ハウレンソウ・コマツナを主体とした葉物野菜の生産に取り組み、生産量、販売額も順調に増加しています。

今後も、広島市等の研修制度を活用して、意欲ある農業者を育成・確保し、葉物野菜産地としての形成に努め、地域雇用の創出と定住施策を推進していきます。

## 8 ヘルスツーリズム事業について【商工観光課・地域商社あきおた】

人情田舎体験事業（教育旅行）の6月以降の実績及び9月の予定は、次のとおりとなっています。

No.	学校・団体名	参加人数	受入日程
1	海老名市立柏ヶ谷中学校	民泊：251人 (北広島町合同)	6月7日(金)～9日(日)
2	大阪市立東住吉中学校	日帰り選択別体験： 188人	6月12日(水)
3	大阪市立新北島中学校	民泊：137人	6月13日(木)～14日(金)
4	加計学園 アメリカ・ブラジル訪日文化研修団	ホームステイ：30人	7月10日(水)～11日(木)
5	日系社会次世代育成研修団	ホームステイ：20人	7月12日(金)～13日(土)
6	呉市立呉中央中学校	民泊：97人予定	9月18日(水)～19日(木)
合 計 6団体		723人予定(うち町内615人予定)	

次に、森林セラピー事業につきましては、6月1日から8月14日までの実績は、41回のセラピー体験を行い、683人の参加を得ています。イベント関係が3件、企業関係が1件・サークルや学校関係が2件・個人参加が18件(うち森林セラピー体験4件、SUP体験14件)で、昨年同時期に比べ419人の増となっております。

## 9 がんばるビジネス応援補助金事業について【商工観光課】

がんばるビジネス応援補助金については、8月20日現在で、起業化促進事業が2件、新分野進出事業が3件、補助金総額5,922千円を交付決定しています。

他にも審査中の案件や、複数の相談を2件受けており、今後も申請がある見込みとなっております。

この制度も6年目をむかえ、商工会と新規希望・既存事業者を共に対象とした研修会などに誘導しながら、適正な活動支援を行うこととしています。

本年度の各事業別の交付決定実績及び見込みは下記のとおりです。

区 分	申請件数	交付決定金額
新分野進出事業	3件	4,788千円
起業化促進事業	2件	1,134千円
事業継承事業	0件	0千円
審査中・相談案件(※補正予算外)	2件	4,000千円
合 計	7件	9,922千円

## 10 プレミアム付き商品券発行事業について【商工観光課】

経済対策の一環として、安芸太田町ハートフル協同組合で実施する、プレミアム付き

商品券発行事業については、1割のプレミアムを付け、総額37,400千円を7月10日から販売開始しました。また今年度は、町外者向けにも7月20日から8月18日までの期間に393冊を道の駅で販売しましたが、残りの商品券は8月27日に町内販売を再開して、翌日に完売しております。

継続的な発行により、町内消費の喚起及び外貨獲得を行い、商店街の活性化に繋がっています。

なお、消費増税対策として国の政策における低所得者及び3歳未満児へのプレミアム付き商品券については、9月下旬から対象者に通知を発送して、10月から申請を受け付ける予定としております。

## 11 イベント開催状況について【商工観光課】

6月1日は第40回中国地方選抜神楽競演大会、6月1・2日は春の吉水園一般公開、6月2日は井仁棚田体験会（田植えの部）や深入山では第18回ひろしま「山の日」県民の集い、7月13日は納涼加計まつり、7月28日は龍頭峡まつりなど、町内各地域でイベントが開催されました。

6月22日には「わがまち魅力発信隊」としてマツダスタジアムで安芸太田町をPRしました。漬物焼きそば400食、鮎の一夜干しを200食、祇園坊ジェラート（みんなのきぼう）300個、祇園坊ワッフル200個を販売しました。また、昨年カープ球団オーナーにご了解を頂いたもりみんとカープ坊やのコラボグッズのスポーツタオル・コースター・ストラップの販売を行いながら、安芸太田町総選挙「どれにふれてみたいですか」という体験メニューのアンケートに990人が参加されました。

ちなみに「SUP」が一位でした。

8月3日の「第29回ふれあい戸河内まつり」では約3,500人の方にお越しいただきました。8月11日には、「Fun Ride 2019 in やまがたサイクルランド～‘おおやようこ’‘牧野ステテコ’と走ろう～」を北広島町と合同で開催しました。温井ダム夢の丘公園をスタート&ゴールとし、安芸太田町内では深入山グリーンシャワーと太田川交流館かけはしにエイドを設置しました。エイドでは、飲料水以外にもカレーやよしおの鯛焼きなどを参加者の皆様に提供して、喜んでいただきました。安芸太田町・北広島町と2町合同で開催する2回目のイベントとなりました。エントリー者数は、134人。

当日参加されたサイクリストは125人で、完走者121人となっています。

## 12 国際交流員の採用について【商工観光課】

7月29日に来日し、31日から安芸太田町役場の国際交流員として、ヴェロニカ・ウインターズさんが着任いたしました。

アメリカのシカゴで日本語を5年間も学び、京都に1年程居た経験もあります。読書が好きで日本文学にも興味を持っています。

ふれあい戸河内まつりをスタートとして、既に安芸太田町国際交流員（Akiota\_CIR）のフェイスブックを立ち上げて、町内各地の観光情報を英語で発信しています。

この他、インスタグラムで写真を、ツイッターでタイムリーな情報も英語で発信しています。

8月19日からは多言語による町内主要観光施設の看板作製に関わり、外国人ゲスト

と共に観光地を巡り、通訳の補助的業務をこなしながら、ゲスト接待も行っています。

国内各地では、東京五輪に向けた様々なインバウンド対策（外国人観光客）が行われています。一方で広島県内では、市町に国際交流員が配備されるのは久しぶりとなっております。こういったソフト面での観光環境や情報発信能力を充実・強化していくことで、「宮島・原爆ドームを訪れた後の行先は安芸太田町へ」が外国の出発前（旅行計画時）から定着化するように、四季折々の観光情報を常に国内外向けに発信していくと共に、国内観光者向けの環境整備（キャッシュレス決済）やソフト充実も目指しています。

### 13 安芸太田町元気フェスについて【健康づくり課】

「健康のまち」宣言において健康づくりの柱として掲げている運動、食事、生きがいの目標達成を促すため、「安芸太田元気フェス 2019」を、6月23日に戸河内ふれあいセンター及びその周辺で開催しました。

健康運動指導士による講座、指導のもと子どもから大人までを対象とした色々な運動や身体のメンテナンスの実践を行うとともに、安芸太田健康運動クラブ連絡協議会によるウォーキングや体力測定、安芸太田町食生活改善推進協議会による野菜を使った健康飲料の提供、地域商社あきおたによる森林セラピーの紹介など各団体の協力を得て、各種行事を実施しました。

当日は、参加者が110人とまだまだではありますが、50歳以下の参加者の方々が半数近くおられ、今後とも各世代を通じ、健康のまち宣言に掲げる目標が実践のものとなるよう、様々な角度から普及に努めていきます。

### 14 風しんの追加的対策事業について【健康づくり課】

風しんは、発熱及び発疹を主な症状とし、飛沫感染により人から人に感染する感染力の強い疾病で、妊婦が感染すると、生れてくる子どもに目や耳等の障害を含む先天性風しん症候群が生じる可能性があります。

平成30年の7月以降、特に関東地方で風しんの患者数が増加しており、患者の中心が抗体保有率の特に低い30歳代から50歳代の男性であることから、国において風しんの追加対策事業を行い、対象世代の男性の抗体保有率を令和2年7月までに85%、令和3年度末までに90%に引き上げることを目標に3か年で段階的に実施されることとなりました。

事業では、医療機関において抗体検査を行い、抗体が不十分と判断された方は予防接種を受ける流れで、本町では、昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生れの男性対象者545人の方に対し、風しんにおける抗体検査券及び予防接種クーポン券を7月に送付しました。

なお、この検査券及びクーポン券は全国共通で、日本医師会と全国知事会において集合契約を結び、全国の受諾医療機関で検査券及び予防接種を受けることができます。

### 15 旧山県郡西部衛生組合のごみ処理施設等解体工事について【衛生対策室】

解体工事は、工程通り順調に進み6月末には、施設解体作業は、終了し、7月31日に『ポックルくろだお』で開催された「黒峠処理施設関係公害防止委員会臨時会」で担当課より解体工事の進捗状況、工事が滞りなく完了したことを資料説明等により報告をし

ました。

地元地域の澄合、坂根地区におきましても解体工事の進捗状況、工事の完了について、公害防止委員会臨時会において報告の後、報告書により地域内回覧を通じて報告をしました。

関係皆様のご協力により無事に工事が完了できましたことに感謝いたします。

今後も地元地区、公害防止委員会、議会等より更なるご理解、ご協力を得ながら引き続き施設運営をまいります。

## 16 学校教育活動について【学校教育課】

学校教育活動の推進については、4月に全国学力・学習状況調査を実施し、7月末に結果が公表されました。各小中学校において、この結果をもとに課題を分析し、授業改善など学力向上に向け、引き続き取り組んでいきます。

加計小学校は6月10日に、安芸太田中学校は6月7日に、本年度第1回の学校運営協議会を開催し、それぞれの学校の運営方針や取組の重点等を説明し承認を受けました。引き続き、学校運営についての協議及び学校評価等を行っていただくこととしています。

毎年小学校で実施している3泊4日の「山・海・島」体験活動事業は、昨年、7月豪雨の影響により実施できなかったため、今年度は町内全小学校の5・6年生で実施しました。

次世代科学者の育成プログラムとして、日本技術士会中国本部の皆さんを講師に招き、8月2日に小学生を対象に1回目の「科学アカデミー」を開催しました。今年で7年目を迎えます。1回目は科学工作を行い町内63人の小学生の参加がありました。今後は9月、10月にプログラミング教室を開催する予定です。

キャリア教育の推進については、町商工会の協力を得て、中学2年生が8月19日から5日間にわたり、町内24の事業所において職場体験学習を実施しました。

将来の就労を見据えた実践活動を通じて、自己のキャリア形成を見通し主体的に学んでいくことを期待しています。

## 17 第8回安芸太田町グラウンド・ゴルフ大会について【生涯学習課】

7月7日に深入山グラウンド・ゴルフ場で第8回安芸太田町民グラウンド・ゴルフ大会が開催され、町内21自治振興会から99人の参加がありました。参加者全員が親睦と交流を深められながらプレーを楽しまれました。

## 18 第57回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会の開催について【生涯学習課】

7月28日から31日までの4日間つつがライフル射撃場において、本大会が開催されました。本大会は公益社団法人日本ライフル射撃協会と全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会安芸太田町実行委員会の主催によるものです。

全国から43都道府県126校800人近くの選手・役員が高校生ライフル射撃競技の聖地ともいわれるつつがライフル射撃場に集い、団体男女4種目、個人男女4種目で本年度の高校チャンピオンの座を競いました。今年度も加計高校ライフル射撃部から参加しましたが、惜しくも入賞には至りませんでした。大会運営のボランティアとして積極的に開催準備・表彰式の手伝い・片付けまで一生懸命熱心に協力し、さわやかな雰囲気

与えてくれました。

この大会は、町内で開催される数少ない全国大会でもあり、派手さはありませんが、例年、全国各地から多くの高校生を迎え大変活気づくものとなっております。

## 19 漁村交流会について【生涯学習課】

8月11日、海沿いに面する地域に住む町外の子どもたちとの交流を図るとともに、子ども会活動の情報を交換し合う中で更なる活動の活性化を進めていくことを目的として、今年度は山口県熊毛郡上関町で開催しました。

この事業は、平成18年度から上関町子ども育成連絡協議会と共催で、開催場所を毎年交互として交流をしています。

安芸太田町からは小学4年生から中学3年生までの17人の参加があり、日ごろでは体験できない海での活動に、参加した子供たちは笑顔いっぱい活動するとともに、上関町の子どもたちと交流を深めることができました。